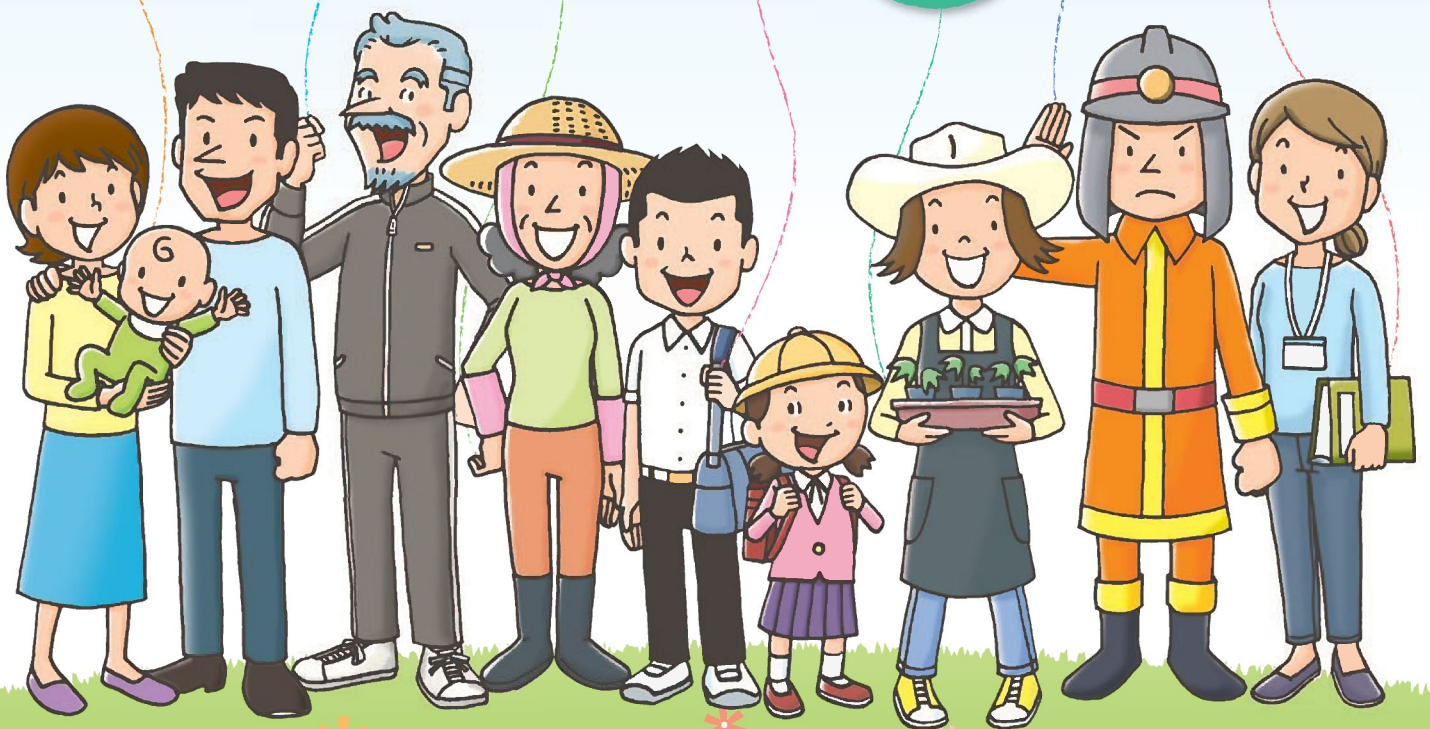


麻生区統計白書

平成27年度版

もっと好きになる あさ お 麻生



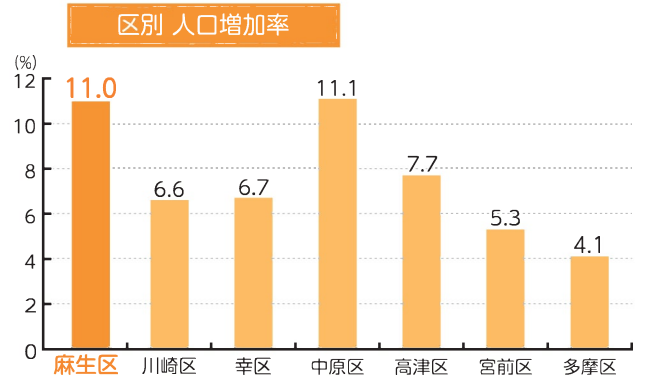
あさ お 麻生区ってどんなまち?

暮らし編 詳しくは3~4ページ



麻生区の人口17万4,659人*は7区中第6位ですが、平成22年の人口増加率(平成17年の国勢調査と比較)は中原区に次いで市内第2位の**11.0%**となっています。

出典:平成22年国勢調査
*人口は平成26年10月1日現在

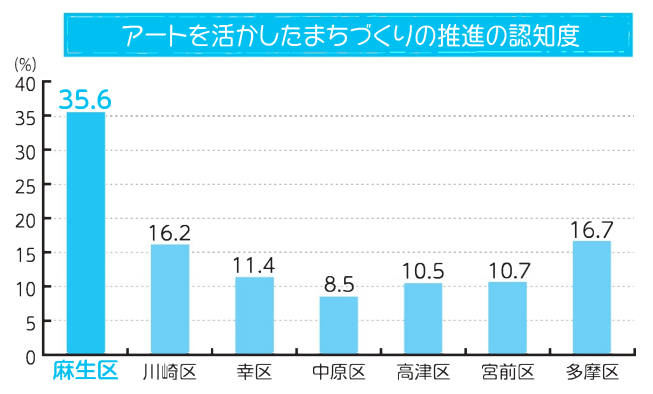


芸術文化・スポーツ編 詳しくは5~6ページ



アートを活かしたまちづくりを推進する川崎市取り組みを、麻生区民の**35.6%**が「知っている」と答えています。「しんゆり・芸術のまち」の認識が高いことが、つかえます。

出典:平成22年川崎市観光振興実態調査報告書

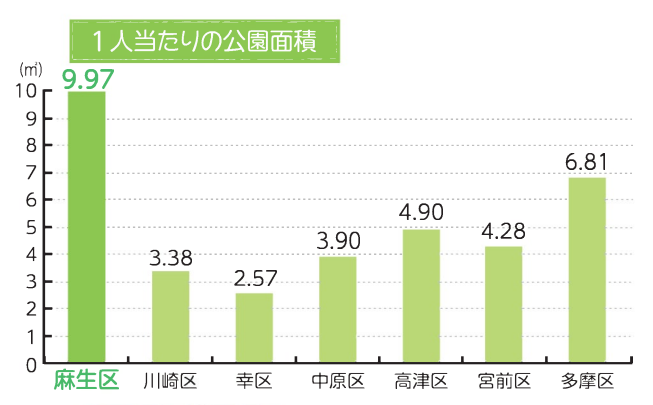


農業・環境編 詳しくは7~8ページ



区民1人当たりの公園面積は**9.97㎡**と7区の中で最も広くなっています。麻生区は、緑の潤いにあふれた地域となっています。

出典:平成26年川崎の公園

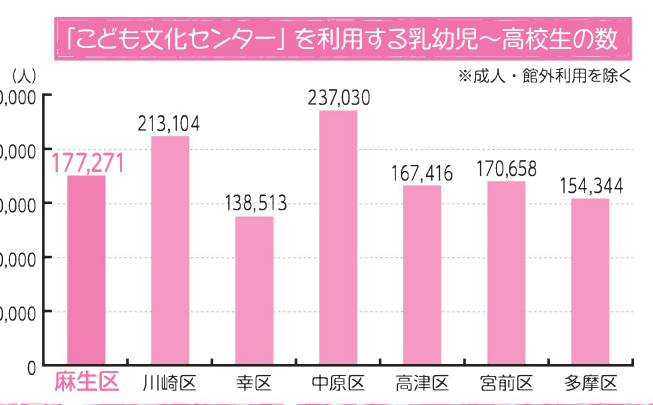


子育て・教育編 詳しくは9ページ



平成24年度の麻生区のこども文化センターを利用する乳幼児~高校生は、**17万人**を超え、7区のこども文化センターの中で**3番目**の多さとなっています。

出典:平成24年度市民・こども局青少年育成課資料



～統計から見る区民の生活～



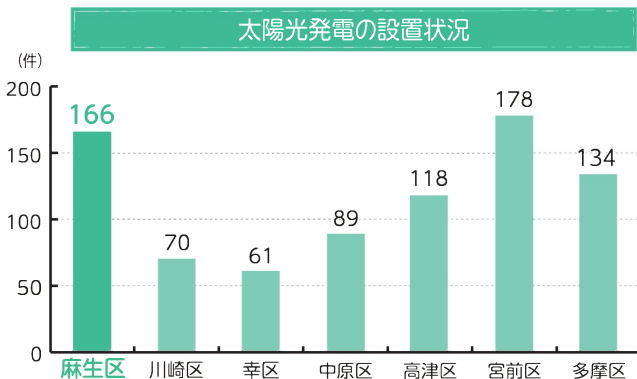
エコ編

詳しくは10ページ



市では、自宅に太陽光発電設備を設置しようとする市民の方への導入支援を行っています。この補助事業の平成25年度実績で、麻生区は7区中二番目に多い**166**件となっています。

出典：平成25年度 環境局地球環境推進室資料 ※個人住宅向け実績



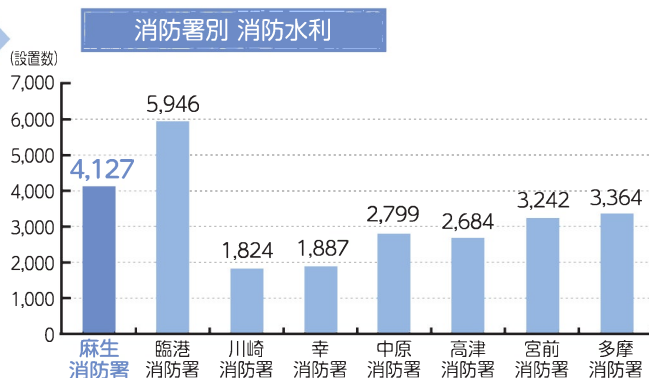
防災・防犯編

詳しくは11ページ



消防水利（75mm以上の消火栓、防火水槽など）の設置数は、麻生消防署が**第2位**となっています。

出典：平成25年 消防年報



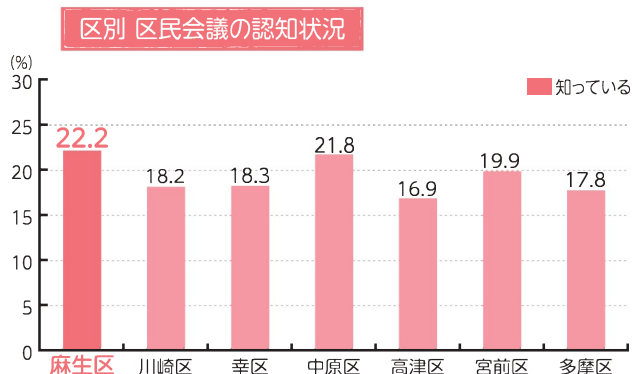
区民参加編

詳しくは12ページ



区民会議について「知っている」人は**22.2%**で、7区中最も高い割合を示しています。

出典：平成23年度 かわさき市民アンケート 報告書



麻生PRIDE

新たな産業の発展に期待

麻生区の南黒川地区と栗木地区の2カ所には、「マイコンシティ」が整備されています。マイコンシティは、将来の発展が期待されるエレクトロニクス関連産業をはじめ、通信・情報処理・ソフトウェア業などの研究開発機能を集積し、新たな産業基盤と雇用の創出を図るためのものです。川崎市の誘致事業は1995年より栗木地区で進められ、すでに全区画の企業誘致が完了し各事業所が稼働しています。

もともと山林や農地、住宅などの土地利用比率が比較的高い麻生区ですが、マイコンシティの誕生により、より多様な特色を持つまちとしての発展が期待されています。



マイコンシティ栗木地区

住みよいまち

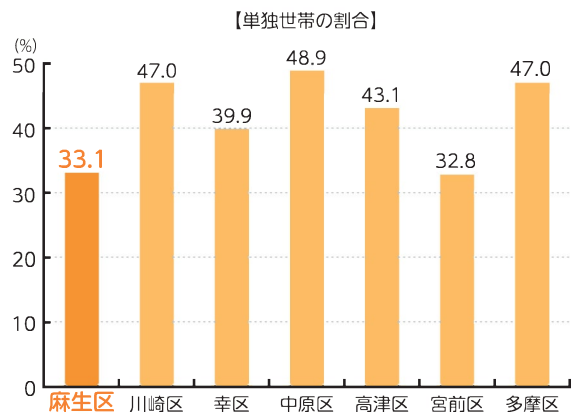
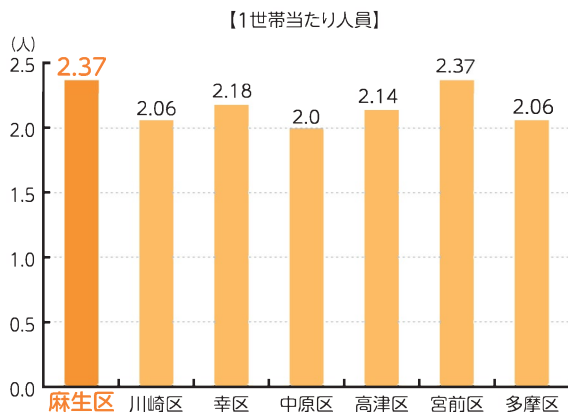


暮らし編

麻生区は、小田急線沿線を中心に開発が進み、生活利便性を高める一方で、昔ながらの豊かな自然環境が守られ、落ち着いて暮らせるまちという実感を広げています。こうした住環境と都心へのアクセスの良さから、ファミリー層に人気のあるまちとなっています。

区別 1世帯当たり人員／単独世帯の割合

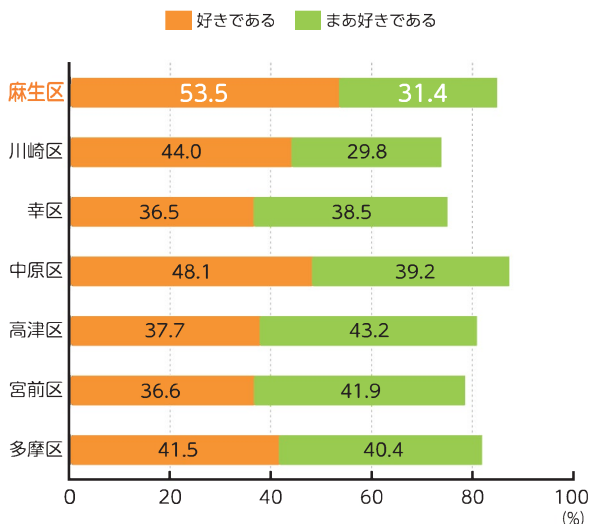
1世帯当たりの世帯人員は、川崎市全体の2.13人に対して麻生区は2.37人と高くなっています。単独世帯の割合は少なく、家族で麻生区に住んでいる傾向があります。



出典：平成22年 国勢調査

若者からの印象

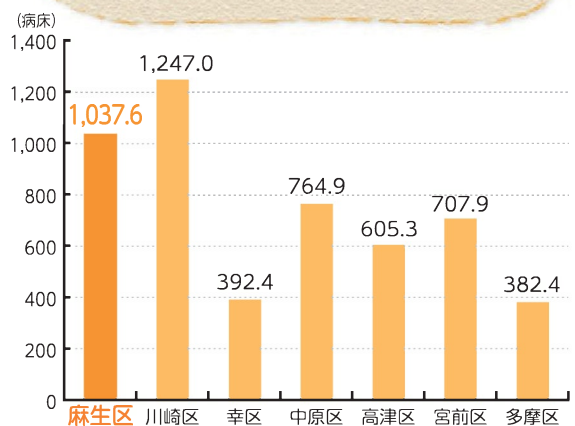
若い世代では、麻生区を「好きである」と答える人が53.5%で7区中トップです。好きな理由として「自然環境」の良さを最も多く挙げています。



出典：平成22年 川崎市青少年意識調査報告書

医療施設数

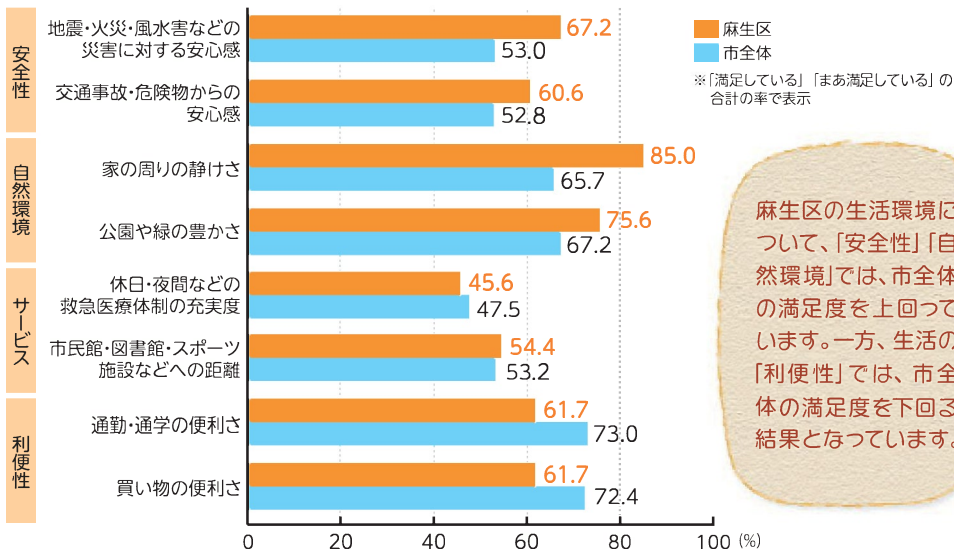
平成24年の人口10万対病床数*は、7区の中では、川崎区に次いで第2位となっています。平成24年には、市内北部の不足病床を補うことなどを目的とした377床の新設病院「新百合ヶ丘総合病院」が誕生しました。



*算出に用いた人口は、神奈川県統計課公表の「人口と世帯」(平成24年10月1日現在)より
*病床数は、一般・療養・結核・感染症・精神を足した数です。

出典：平成24年 神奈川県統計年報統計表
<第2部 医療施設調査・病院報告・医師・歯科医師・薬剤師調査>

生活環境の満足度



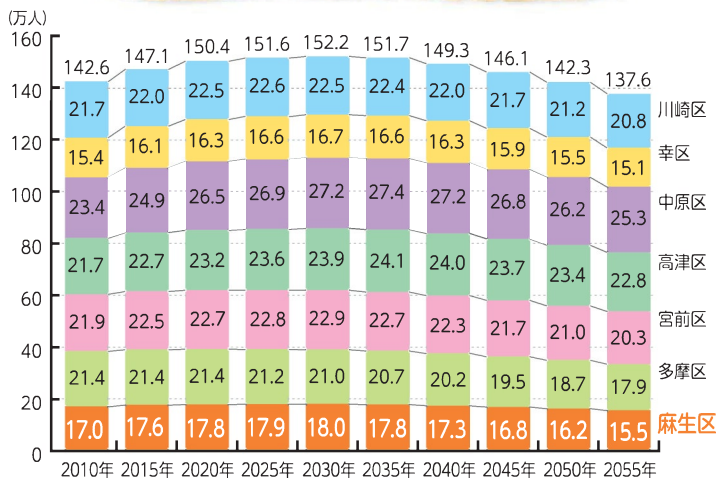
麻生区の生活環境について、「安全性」「自然環境」では、市全体の満足度を上回っています。一方、生活の「利便性」では、市全体の満足度を下回る結果となっています。



出典：平成25年度 かわさき市民アンケート報告書

区別 人口推計結果

麻生区は2030年まで人口増加を続け、以降は少しずつ減少していくものと見込まれます。



出典：平成26年 川崎市将来人口推計

1日平均乗降人員

●小田急線

駅名	乗降人員(人)	増減率(%)
百合ヶ丘	21,211	1.9
新百合ヶ丘	124,499	1.4
柿生	35,933	1.9

●小田急多摩線

駅名	乗降人員(人)	増減率(%)
五月台	10,170	0.4
栗平	22,476	3.2
黒川	8,395	0.3
はるひ野	8,855	9.8

※増減率は平成24年度対比

小田急多摩線に増加傾向がみられますが、その中で周辺の宅地開発が盛んな小田急多摩線「はるひ野」駅は、1年間で約10%増加しています。

出典：平成25年度 小田急線1日平均乗降人員

麻生PRIDE

緩やかに増加する人口

2014年10月1日現在で約146万1,000人あった川崎市の人口は、2030年まで増加を続け、ピーク時には152万2,000人になり、その後、減少に転じるものと予想されています。

市の人口が緩やかなカーブを描いて増加・減少する中で、麻生区の人口の増減はどうなっていくのでしょうか。予想では、やはり2030年までゆっくりと増加していくものと考えられています。そのときの人口は約18万人と見込まれています。その後、ゆっくりと人口が減少していきますが、社会増減を見ると、2030年以降も増加することが見込まれます。引き続き転出する人よりも転入する人のほうが多い年が続くことが分かります。



通勤・通学時間帯の新百合ヶ丘駅



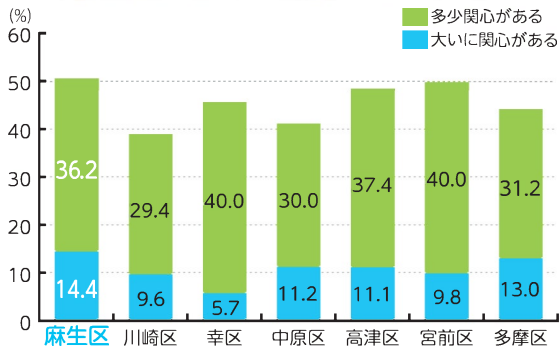
芸術文化・
スポーツ編

楽しさあふれるまち

音楽などの芸術を推進するまちとして浸透しつつある川崎市。そこにあつて麻生区は、「しんゆり・芸術のまち」をはじめとする活発な活動で、市のイメージをリードしています。また、麻生スポーツセンターなど、住民が積極的にスポーツに親しめる環境もあります。

「アートを活かしたまちづくりの推進」の関心度

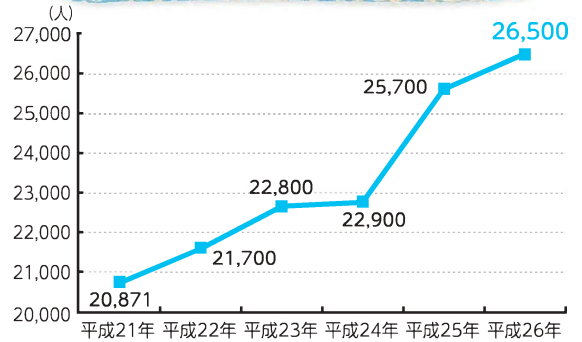
「アートを活かしたまちづくりの推進」について、区民の14.4%が「大いに関心がある」と回答しました。芸術文化を活用したまちづくりが、根付いてきていることを示す結果となっています。



出典：平成22年 川崎市 観光振興実態調査 報告書

「アルテリッカしんゆり」来場者数

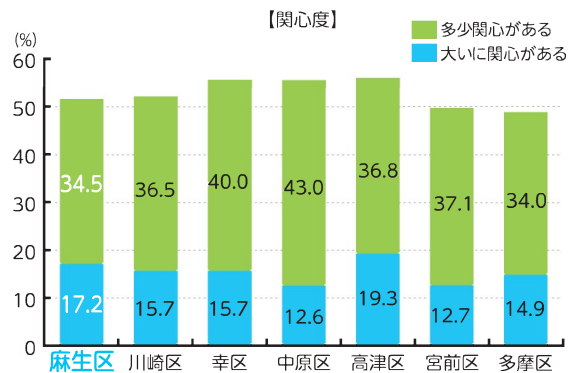
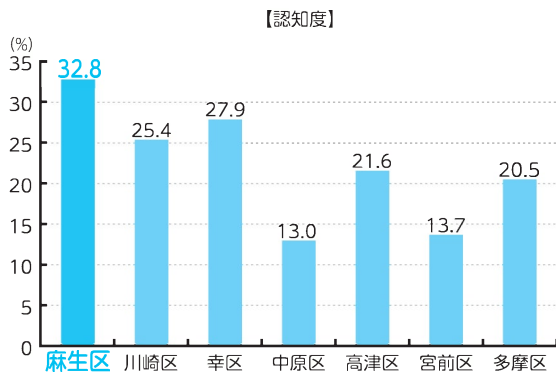
平成21年から始まった「アルテリッカしんゆり」は、ゴールデンウィーク期間中に音楽・映画・演劇・伝統芸能などの催し物をとぞえた芸術祭です。その入場者数は、回を重ねるごとに増え、平成26年には2万6,000人を超えました。



出典：市民・こども局市民文化室資料

「映像のまち・かわさき」の認知度・関心度

川崎市には日本映画大学をはじめ、多くの映像スタジオやシネコンがあり、映像に親しむ機会が充実しています。こうした豊富な地域資源を活かし、まちの魅力をさらに高めようと、市では「映像のまち・かわさき」を推進しています。これについて、麻生区民の32.8%が「知っている」と答え、7区中最も高い割合に達しています。また、17.2%が「大いに関心がある」と回答しています。



出典：平成22年 川崎市 観光振興実態調査 報告書



しんゆり・芸術のまち

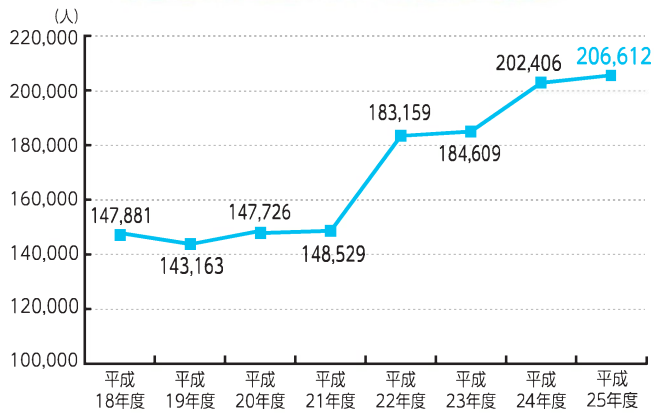
新百合ヶ丘駅周辺には、川崎市アートセンターや昭和音楽大学、日本映画大学などの芸術文化施設が集まり、麻生音楽祭、KAWASAKIしんゆり映画祭、アルテリッカしんゆりなどさまざまな芸術関連イベントも開催されています。

<http://www.shinyuri-art.com/>

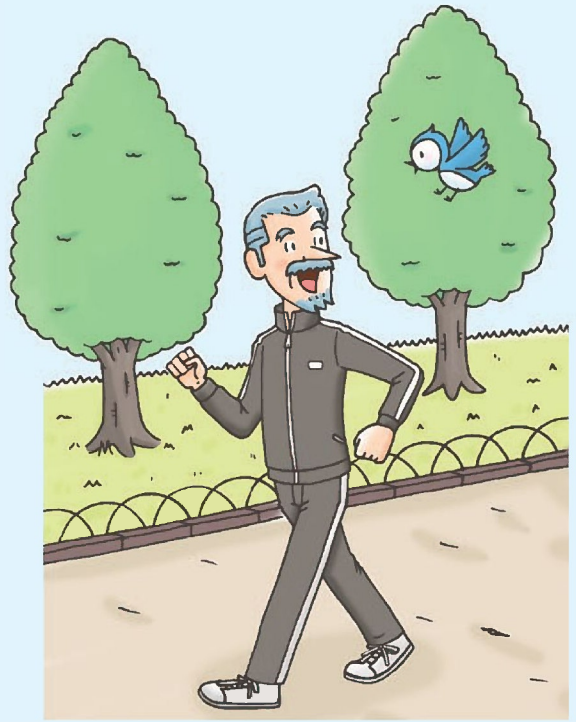


麻生スポーツセンター 利用者数

麻生スポーツセンターは、昭和61(1986)年の開館以来、幅広くスポーツ・レクリエーションを楽しむ場を提供しています。平成22年度以降は18万人以上の年間利用者数があります。

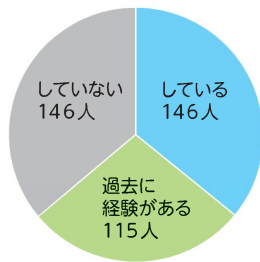


出典：麻生スポーツセンター利用状況統計表



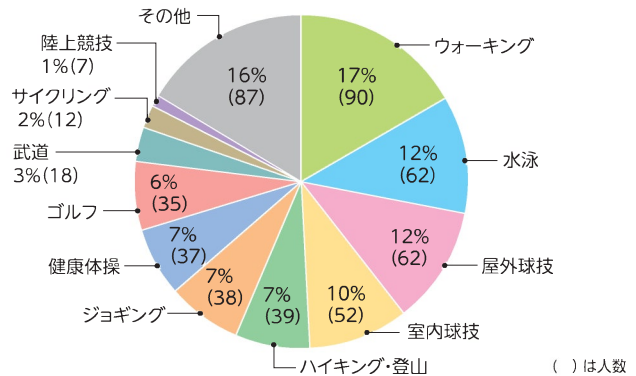
麻生区民のスポーツに関する意識調査

★現在スポーツをしていますか？



現在スポーツをしている麻生区民の割合は、およそ3人に1人となっています。中でも人気があるのは、「ウォーキング」「水泳」「屋外球技」です。

★どんなスポーツをしていますか？



※「している」「過去に経験がある」と回答した方のみ対象(複数回答)

出典：平成23年川崎市麻生区のスポーツのまちづくり資源調査

麻生PRIDE

区を盛り上げるスポーツ

プロ・アマの競技スポーツの隆盛やスポーツ環境の充実が、区民のスポーツ熱を高めています。

Jリーグ・川崎フロンターレの麻生グラウンドでは、毎年11月の「あさお青玄まつり」で、フロンターレの若手選手と区民が交流しています。また、桐光学園のサッカー部は全国高校サッカー選手権へ平成25年度末までに8回出場して準優勝もし、野球部は春夏合わせて甲子園へ平成25年度末までに5回出場し8強入りもしています。

また、スポーツ環境としては、平成25年度に整備が完了した「スポーツ・健康ロード」が目玉されます。これは、柿生駅から麻生グラウンドを経て栗平駅に至る片平川沿いの4.3kmの道を、ウォーキング、ジョギングや麻生グラウンド見学に便利なよう案内看板やベンチ、花壇などを設置したものです。



あさお青玄まつりで、選手と区民が交流



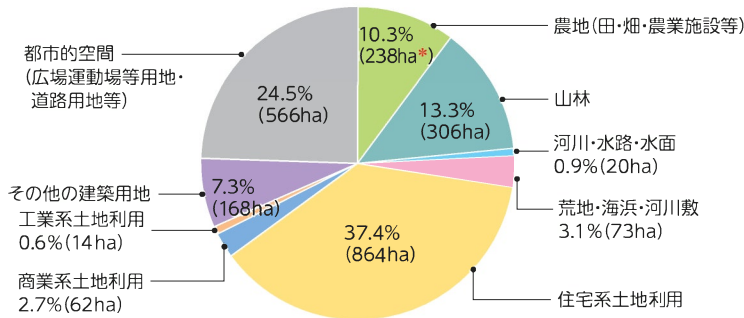
農業・環境編

緑豊かなまち

多摩丘陵の一角にある麻生区は、区全体が高台に位置し、独立性の高い自然環境を有しています。黒川、岡上、早野地区の農業振興地域には、「緑と農の3大拠点」として、心とむ里山の原風景も残されています。

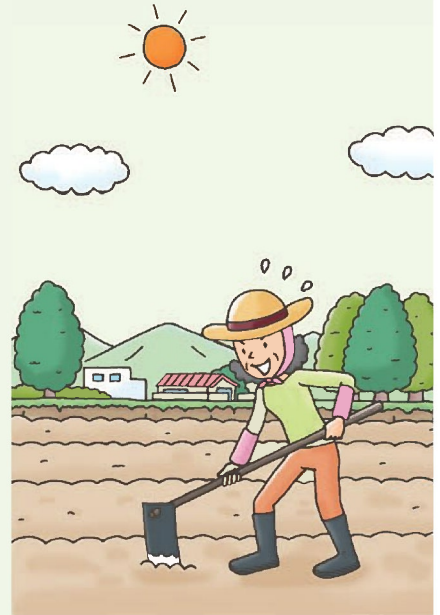
土地利用分類別の割合

麻生区は7区の中で最も農地・山林の割合が多く、23.6%を占めています。土地利用では、住宅系が多く占められ、商業、工業系の土地利用が少なくなっています。



*1ha=10,000㎡

出典：かわさき都市計画 川崎市土地利用状況 平成22年度調査結果



身近な自然

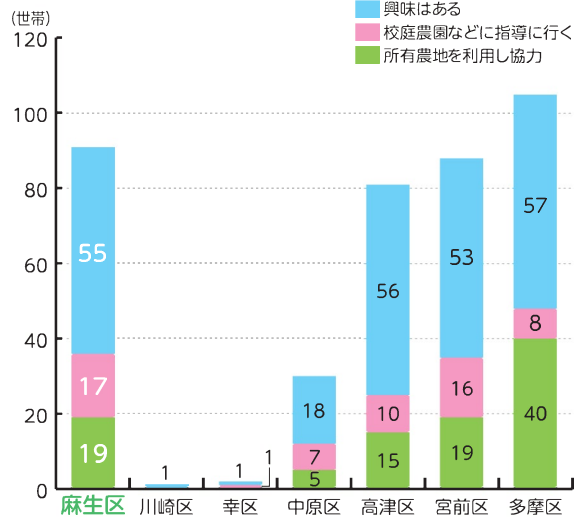
身の回りに自然を「とても感じる」は18.8%、「ある程度感じる」は66.5%で、いずれも7区中ナンバー1。合計すると8割台半ばもの区民が、麻生区に身近な自然を感じています。



※「とても感じる」「ある程度感じる」の合計の率で表示

出典：平成23年度 かわさき市民アンケート報告書

農家の食育への取り組み



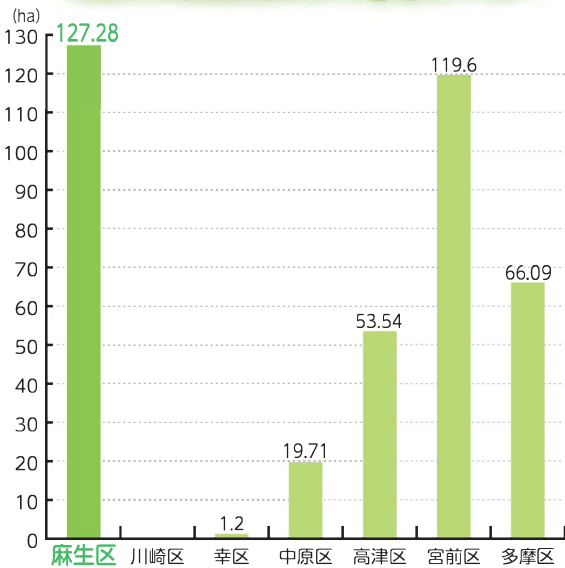
学校農園などへの農家の協力については、麻生区では、「所有農地を利用し協力している」が19世帯、「指導に行く」が17世帯と、7区中2番目に多くなっています。

出典：平成25年度 川崎市農業実態調査



区別 販売農家経営耕地面積

販売農家が経営する耕地(田・畑・樹園地の合計)は、麻生区が7区中最も多くなっています。



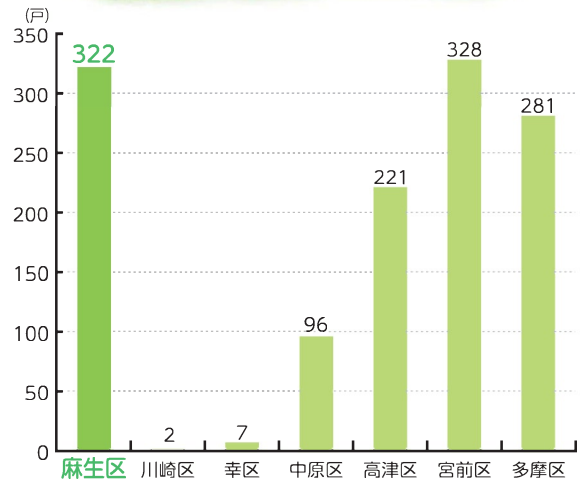
※川崎区については該当数値がありません。

出典：平成22年 世界農林業センサス



区別 農家数

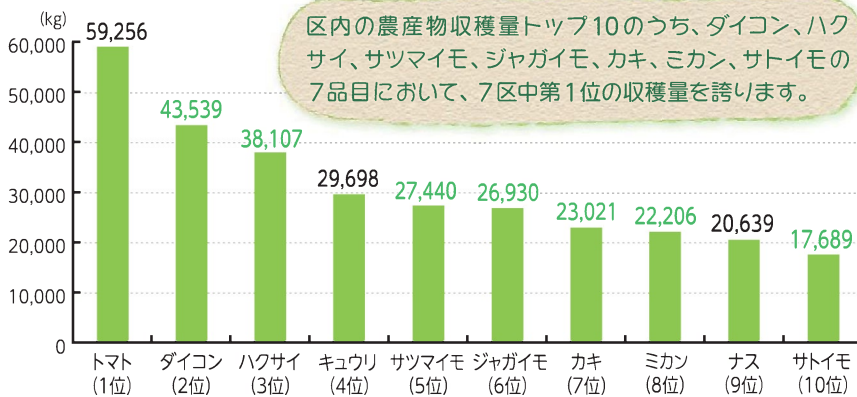
区内の農家数は322戸で、宮前区に次いで2番目となっています。



出典：平成22年 世界農林業センサス



区内の農産物収穫量トップ10



区内の農産物収穫量トップ10のうち、ダイコン、ハクサイ、サツマイモ、ジャガイモ、カキ、ミカン、サイモの7品目において、7区中第1位の収穫量を誇ります。

出典：平成25年度 川崎市農業実態調査

「農家」の定義

農家：経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯または1年間の農産物販売金額が15万円以上あった世帯

販売農家：経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が50万円以上の農家

自給的農家：経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家

麻生PRIDE

市内最大のJA農産物直売所「セレサモス」



セレサモス

農業の盛んな麻生区を象徴する存在が、黒川にある「セレサモス」です。この施設は、JAセレサ川崎が運営する市内で最大の大型農産物直売所で、平成20年4月にオープンし、平成24年7月には、利用者が100万人を超えました。麻生区内はもとより、川崎市内で穫れた新鮮な野菜や果物などの農産物、畜産物を豊富に取り揃えています。

セレサモスのテーマは、「安全・安心・新鮮」、「地産地消」です。穫れたて新鮮な味はもちろんのこと、生産者が直接セレサモスへ持ち込む農産物にはすべて生産者名が記されており、「生産者の顔が見える」販売方法が実現しています。地元生まれの食品はおいしくて安全——そんな認識が、セレサモスを中心に広がっています。



市内で取れた地場野菜などを販売



子育て・教育編

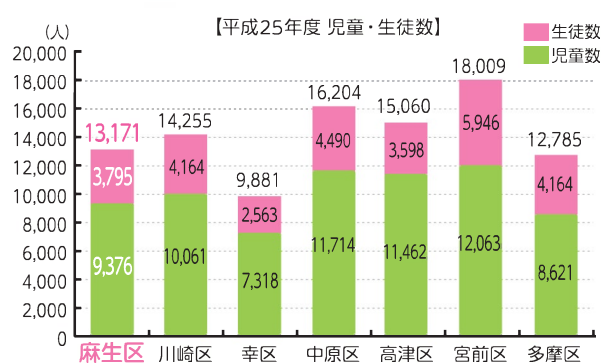
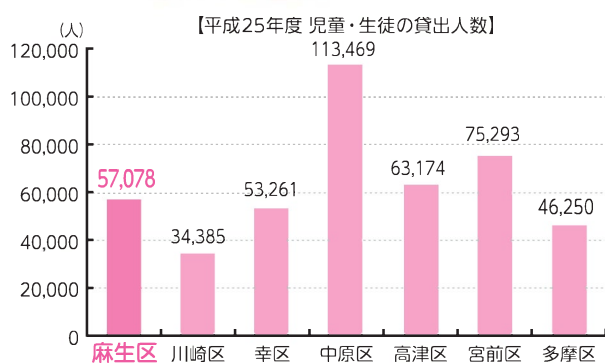
子どもが育つまち

麻生区は豊かな自然環境や生活利便性があるだけでなく、パパ、ママが安心して子育てできる環境があります。本に親しむ児童・生徒数も多く、学習に取り組む子どもの増加にも期待がかかります。



区別 図書館個人利用統計／児童（小学校）・生徒（中学校）数

麻生区の児童・生徒数の合計人数は市内で5番目となっています。また、麻生区の児童・生徒の1人当たりの図書貸出回数は約4.3回と市内で3番目となっており、本に親しむ子どもが多いことを表しています。



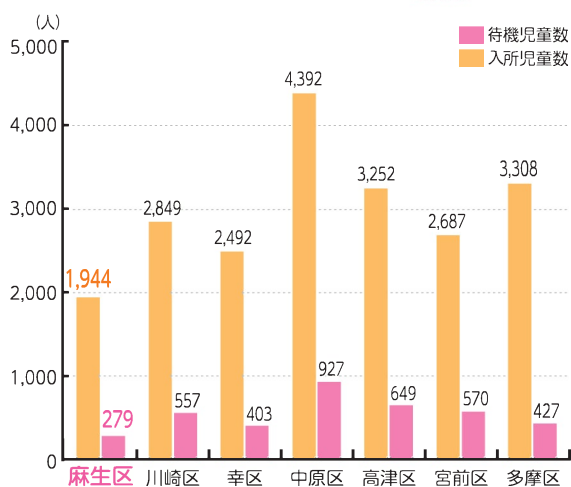
【児童・生徒1人当たりの貸出回数】

区	麻生区	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区
貸出回数	4.3	2.4	5.3	7.0	4.1	4.1	3.6

出典：平成25年度 川崎市立図書館統計
平成25年度 学校基本調査



保育所待機児童数と入所児童数



※平成26年10月1日現在

麻生区の保育所の待機児童数は、7区中最も少ない279人です。

出典：平成26年10月認可保育所の入所・待機児童数



麻生PRIDE

麻生区が6つの大学と提携

文教都市としての性格を持つ麻生区では、平成24年10月に、区内および隣接する町田市に立地する6つの大学（昭和音楽大学・玉川大学・田園調布学園大学・日本映画大学・明治大学・和光大学）との間で、「麻生区・6大学 公学協働ネットワーク」に関する協定を締結しました。麻生区とこれらの大学が、音楽・芸術・福祉・環境・教育などさまざまな分野で相互に知的資源、人材などを活用し合い、それぞれの専門性や地域特性を生かした協働を行うことにより、個性豊かで活力に満ちた地域社会づくりが促進されるものと期待されています。

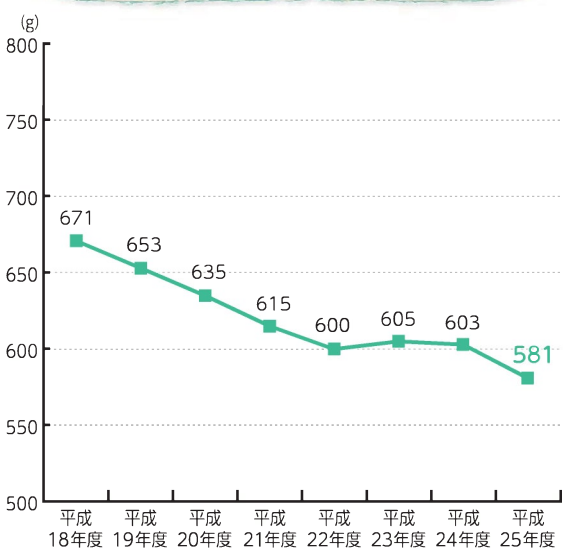


地球にやさしいまち

地球全体の問題であり、家庭レベルの問題でもある、環境問題。ごみをできるだけ減らしリサイクルを増やすこと、再生可能エネルギーの割合を増やすこと—そうした取り組みに麻生区民は前向きに取り組み、成果を上げています。

家庭系ごみの1人1日当たり排出量

家庭系ごみの1人1日当たり排出量について、麻生区は581gで、中原区に次いで、多摩区とともに7区中2番目に少ない量となっています。



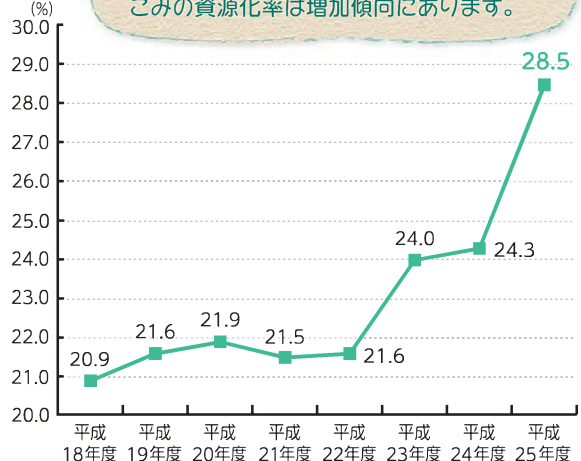
※家庭系ごみ量は、市が収集したごみ（普通ごみ・粗大ごみ・資源物）のこと

出典：平成25年度 川崎市一般廃棄物処理基本計画行動計画の進捗状況



家庭系ごみの資源化率

平成18年度からみると、麻生区の家庭系ごみの資源化率は増加傾向にあります。



※資源化率=(市分別収集量+資源集団回収量)÷(家庭系ごみ量+資源集団回収量)×100

出典：平成25年度 川崎市一般廃棄物処理基本計画行動計画の進捗状況

麻生PRIDE

家庭系ごみの資源化への取り組み

市の人口は増加している一方で、焼却ごみ量は減少傾向にあります。この背景には、ごみ発生抑制の取り組みが着実に成果を上げていることもあると考えられます。市全体では近年20%強の資源化率となっていますが、区別の資源化率を見ると、麻生区は28.5%と、市の平均を上回る資源化率を達成しており、7区中3番目に高い率となっています。

平成24年3月には、市北部地域のごみ処理を担う「リサイクルパークあさお王禅寺処理センター」が区内に完成しました。今後は、既存の王禅寺処理センターを解体撤去し、その跡地に資源化処理施設が建つ予定です。これにより、ごみの資源化が一層進んでいくものと期待されています。



リサイクルパークあさお王禅寺処理センター

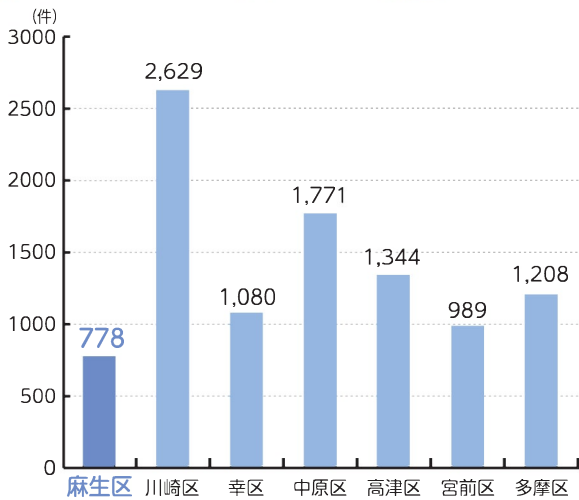


防災・防犯編

安心・安全なまち

地域の都市化が進む中で課題の一つとなるのが、犯罪や災害の発生の抑止や発生時の的確な対応です。麻生区は、火災や犯罪の危険も比較的低い地域となっています。特に「新百合山手」地区は、防犯に対する先進的な取り組みで注目されています。

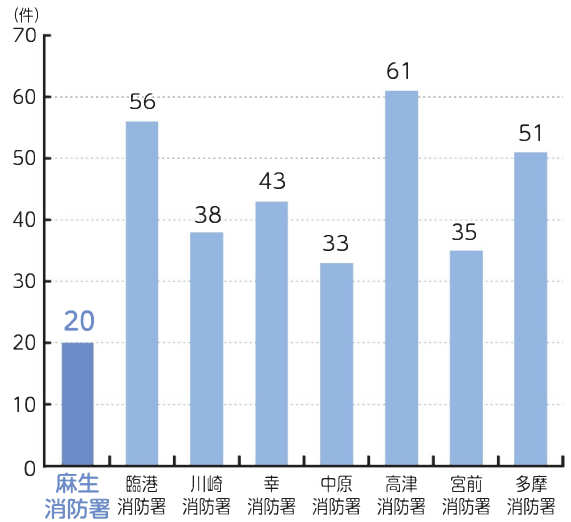
+ 区別 刑法犯 認知件数



麻生区は、刑法犯の認知件数が市内で最も少なくなっています。

出典：平成26年 神奈川県警察

+ 区別 火災状況



市内消防署ごとの火災対応件数は、麻生消防署が20件。8署の平均37件を大きく下回り、市内消防署中最も少ない数となっています。

出典：平成25年 消防年報



麻生PRIDE

安全・安心なまちづくりで表彰

麻生区の安全・安心のまちづくりを象徴するのが、新百合ヶ丘駅前約37万㎡で行われた「万福寺土地区画整理事業」です。

この事業によって生まれた新街区「新百合山手」には、まち全体に「タウンセキュリティ」が導入されました。自治会館内にセキュリティセンターを設置し、24時間、常駐警備員による防犯パトロールを実施。さらに主要箇所に防犯カメラを設置するなど、高レベルの防犯体制を敷いています。

こうした防犯に対する数々の先進的な取り組みにより、同地区は、平成19年「安全・安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。



おやしろ公園に設置されている防犯カメラ

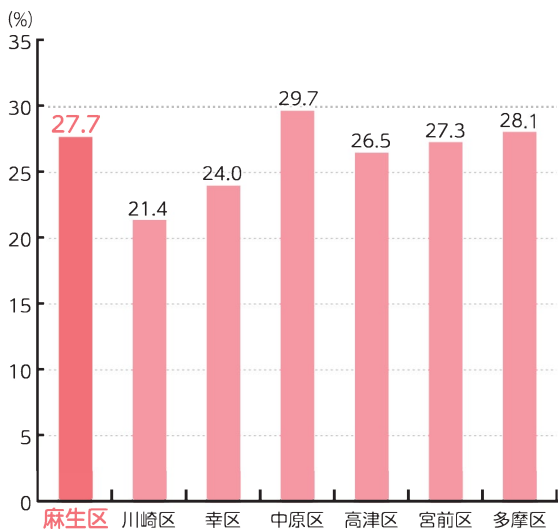


区民参加編

住民参加のまち

市政への参加やボランティア活動、区民同士のふれあいなどを通じて、市民自治やまちづくりに貢献しようという意欲ある住民が増えています。一般市民やNPO、福祉や教育分野に携わる人たちの活躍が、期待されています。

若者のボランティア活動

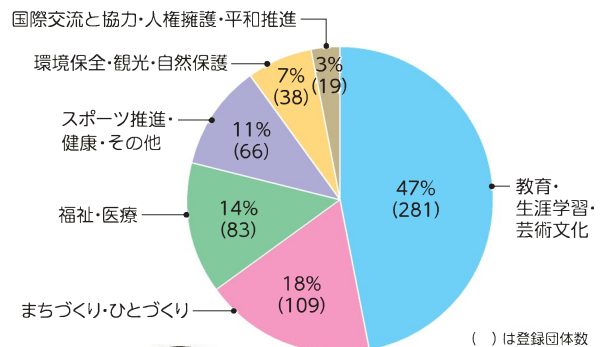


ボランティア活動に「参加している（参加したことがある）」若者は27.7%を占め、川崎市全体の平均を上回り、7区中3番目の多さとなっています。

出典：平成22年 川崎市青少年意識調査報告書

登録団体カテゴリー比

市民が集う場として、また活発な市民活動を支援する拠点として大きな役割を果たしているのが、「麻生市民交流館やまゆり」です。現在の利用登録団体数は570を超えています。



※平成26年3月31日現在

出典：NPO法人あさお市民活動サポートセンター

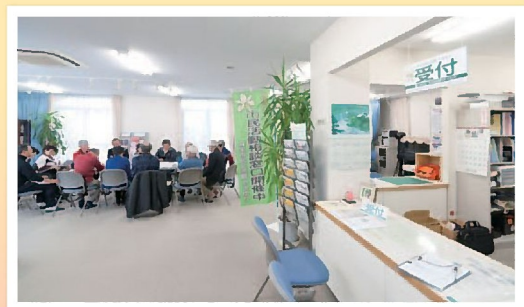


麻生PRIDE

交流と活動のための拠点

NPO法人あさお市民活動サポートセンターが運営する麻生市民交流館やまゆりには、交流の場として自由に使えるサロンや、写真、絵画、書などを展示できるフリースペースのほか、印刷室、会議室などがあり、区民のさまざまな活動をサポートできるようになっています。

市民活動相談窓口も設けられているので、「こんな活動を始めてみたい」といった相談をすることもできます。今後も麻生市民交流館やまゆりから、たくさんの交流や市民活動が生まれ、市民の参加と協働のまちづくりがより一層進展していくものと期待されています。



麻生市民交流館やまゆり

● 麻生市民交流館やまゆり

TEL 044-951-6321 <http://web-asao.jp/yamayuri/index.html>

✉ kouryukan-yamayuri@view.ocn.ne.jp

統計クイズ

クイズにチャレンジして、みんなの麻生区理解度をチェック!

※答えは14ページにあります。



Q1

平成26年10月1日現在の麻生区の人口は何人?

- ①約10万人
- ②約17万人
- ③約140万人

Q6

麻生区で穫れる農産物の中で最も多く収穫されているのは?

- ①ダイコン
- ②カキ
- ③トマト



Q2

区内で利用者の増加率が最も高い駅は?

- ①はるひ野駅
- ②栗平駅
- ③新百合ヶ丘駅



Q7

平成23年度の児童・生徒の図書の貸出回数は1人当たりどのくらい?

- ①約0.5回
- ②約1.2回
- ③約4.3回



Q3

「アルテリッカしんゆり」の平成26年の入場者数は?

- ①約6,000人
- ②約1万6,000人
- ③約2万6,000人



Q8

平成25年度の麻生区の家系ごみの1人1日当たり排出量は平成24年度の排出量と比べると?

- ①減っている
- ②変わっていない
- ③増えている



Q4

平成25年度の麻生スポーツセンターの利用者数は?

- ①約10万人
- ②約20万人
- ③約30万人

Q9

麻生区の刑法犯の認知件数は市内7区中で多い? 少ない?

- ①最も少ない
- ②中間
- ③最も多い



Q5

麻生区の土地利用状況の中でも、区内でトップになっているのは?

- ①山林&農地
- ②住宅系
- ③商業系

Q10

麻生市民交流館やまゆりに利用登録している団体数はどのくらい?

- ①約70団体
- ②約170団体
- ③約590団体



麻生イベントカレンダー

1月

- あさお古風七草粥の会（区役所、市民館広場）
- どんど焼き（片平・黒川・早野・金程・王禅寺・上麻生・岡上・真福寺・栗木 ほか）
- 消防団出初式
- 流鏝馬（高石神社）
- ダルマ市（麻生不動院）

2月

- 節分（区内神社など）

4月

- 桜まつり（麻生川）
- 竹の子掘り（区内各所）

5月

- アルテリッカしんゆり（新百合ヶ丘駅周辺、ホール）

6月

- 麻生音楽祭（市民館大ホール）
- ブルーベリー摘み取り（区内各所）

7月

- 盆踊り（区内各所）
- ブルーベリー摘み取り（区内各所）

8月

- KAWASAKI しんゆり映画祭野外上映会（麻生小学校）
- 盆踊り（区内各所）

9月

- かかし祭り（古沢）
- 秋祭り（区内神社）

10月

- KAWASAKI しんゆり映画祭（ワーナー・マイカル・シネマズ新百合ヶ丘、川崎市アートセンター）
- あさお区民まつり（区役所、市民館広場周辺）
- オリーブまつり（新百合ヶ丘駅周辺）
- 区民運動会（麻生水処理センターふれあいの丘）
- いも掘り、落花生掘り、柿もぎ（黒川東堂農団地）
- いも掘り、柿もぎ、リンゴ狩り（岡上農団地）
- 麻生区文化祭（市民館）
- 禅寺丸柿まつり（柿生駅南口）

11月

- 麻生菊花大会（市民館野外ステージ）
- あさお福祉まつり（区役所、市民館広場）
- 農業祭り（区内各所）

12月

- kirara@ アートしんゆり（新百合ヶ丘駅周辺）

※予定は変更される場合があります。

麻生のマーク



麻生区

昔、この地域で多く採れたという「麻の実」をモチーフに、あさお（ASAO）の「A」を組み込んだデザインで、この「A」の部分は「躍進」を表しています。また、一本のなめらかな曲線のふたつの輪は、「平和」を象徴しています。

百合ヶ丘の地名の由来になったとの説があり、昔から区内に自生しています。区内各所で植栽されるなど、保護育成の取り組みも行われています。



柿生の地名の由来になったとの説があり、麻生区原産の日本最古の甘柿の品種と言われています。区内全域に多く植えられ、現在も食されています。

麻生区は平成24年に区制30周年を迎えたことを記念して、区の花（ヤマユリ）と木（禅寺丸柿）のロゴマークを制定しました。ヤマユリのさわやかな白さと禅寺丸柿の実の鮮やかさが浮き立つようなデザインです。

クイズの答え

- Q1 ②約17万人 [年々増加し、平成17年から平成22年の国勢調査の人口増加率は約11%です。]
 Q2 ①はるひ野駅 [1年間で9.8%増えています。]
 Q3 ③約2万6,000人 [入場者数は、年々増えています。]
 Q4 ②約20万人 [年間206,612人が利用しています。]
 Q5 ②住宅系 [住宅地としての利用率は37.4%です。]
 Q6 ③トマト [収穫量は約63トンです。]

- Q7 ③約4.3回 [幸区に次いで、市内第3位の貸出回数です。]
 Q8 ①減っている [平成18年度から平成25年度までで、1日当たり91g減っています。]
 Q9 ①最も少ない [市内で犯罪発生が最も少ないのは麻生区です。]
 Q10 ③約590団体 [半数近い281団体が教育・生涯学習・芸術文化の登録をしています。]

もっと知りたい! 調べたい!

麻生区のこと、麻生区が属する川崎市のことなどをもっと詳しく知りたい方は、次のサイトを調べてみましょう。

日本の統計のこと

★総務省統計局

国勢の基本的な統計データを取り扱うサイトです。

<http://www.stat.go.jp/>

★なるほど統計学園

統計データの見方・探し方・活用の仕方などを、やさしく・わかりやすく公表しているサイトです。

<http://www.stat.go.jp/naruhodo/>

麻生区のこと

★川崎市麻生区

麻生区民の生活に関する情報をお知らせするサイトです。

<http://www.city.kawasaki.jp/asao/>

★区政・選挙・統計

統計データのほか、麻生区の基本情報を紹介しているサイトです。

<http://www.city.kawasaki.jp/asao/category/128-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

★麻生区きつずページ

統計データだけでなく、麻生区のさまざまな情報をやさしく・わかりやすく公表しているサイトです。

<http://www.city.kawasaki.jp/asao/category/112-3-2-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

川崎市のこと

★川崎市

川崎市民の生活に関する情報をお知らせするサイトです。

<http://www.city.kawasaki.jp/>

★統計情報

川崎市に関する統計データを取り扱うサイトです。

<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/51-4-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

★統計情報 キッズページ

川崎市の統計データを子ども向けにやさしく・わかりやすく公表しているサイトです。

<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/51-4-1-0-0-0-0-0-0-0-0.html>



麻生区統計白書

もっと好きになる麻生

平成27(2015)年4月1日発行

【発行】川崎市麻生区役所まちづくり推進部総務課

〒215-8570川崎市麻生区万福寺1-5-1

TEL 044-965-5109

FAX 044-965-5200

<http://www.city.kawasaki.jp/asao/>

【印刷】有限会社 協立印刷社

〒210-0014川崎市川崎区貝塚2-14-11

TEL 044-222-4205

区民課混雑情報はここから



麻生区区民課混雑情報 検索

